

講演会「ウィーンのまちと音楽」!

●音楽の都ウィーンからの贈り物・出前講座!

11月4日と5日は、春日部市内の2つの中学校で音楽の都ウィーンからの贈り物実行委員会(実行委員長・三輪昭彦さん)による2015年度事業出前講座「講演会『ウィーンのまちと音楽』」でした。

この事業は、春日部地区浦高会(会長・三輪昭彦さん)の創立15周年地域貢献事業の一環として行っているもので、2015年度はコンサートと出前講座の二つの事業を行っています。

* *

【開催に至までの経緯と主旨】

春日部地区浦高会(創立2001年9月)では、創立15周年(2016年)に向けて、2015年春から複数年にわたり「春日部市の人財づくりや地域力向上」の面での地域貢献活動を実施してまいりたいと考えていました。

そんな中、春日部市では2010年から「かすかべ音楽祭」を開催し、市をあげて「音楽のまちづくり」を推進しています。また、春日部市内の中学校・高等学校では、合唱や吹奏楽が盛んで、各中学校が全国大会に出場し好成績を収めている状況にあります。さらに、合唱や軽音楽等のサークルも多く音楽を愛好する活動も多い状況にあります。

こうした背景を踏まえて、私たちの同窓生であり、現在もウィーンを中心としてヨーロッパ各地で活躍されている声楽家・富田千種氏(元・ウィーン国立歌劇場バリトン歌手)などをお招きして、多感な中高生や市内外の愛好家に世界最高峰のクラシック音楽を体験してもらうことを目的として「音楽の都ウィーンからの贈り物」事業を企画しました。

【事業計画】

この事業は、3段階でステップアップしていきたいと考えています。

1. **ウィーンの音楽に出会い、興味を持ってもらう段階** ⇒ コンサートを通じてウィーンの音楽と音楽環境に興味を持ってもらいます。



2. **中高生や合唱サークルの方々が世界レベルの指導を受け、技術を身に付ける段階** ⇒ 富田氏等による出前指導により、中高生や合唱サークルの皆さんに世界レベルの技術を自ら体験してもらいます。

3. **世界レベルの音楽を春日部市内で楽しむ段階** ⇒ 来年度以降は、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の奏者を招いて世界最高の演奏を春日部市内で体験できるコンサートを実現します。

* *

今年は6月13日(土)に、埼玉県立春日部高校センターホールを会場として、220名の参加をいただきコンサートを開催しました。



出演は、ウィーン在住でウィーン国立歌劇場をはじめ各国の舞台で活躍されているバリトン歌手の富田千種さん、フランスをはじめ各国のコンサートに出演されているソプラノ歌手の本田ゆりこさん、ピアニストの白取晃司さんでした。

そして、富田さんによる出前講座を本日までに4回開催して来ました。

【出前講座】

■埼玉県立春日部高校グリークラブ

(7月9日 26名、10月9日 21名)発声練習を中心とした声楽指導を2回にわたり実施しました。



■春日部市立緑中学校



(11月4日 全校生徒と教職員 350名) 学校との相談により、生徒達が世界に羽ばたくきっかけとなるような講演を行い、歌声の披露や発声法を伝授しました。〔話の流れ〕◇日本を離れて音楽の都へ、◇世界の音楽、オペラと歌曲の世界、◇ウィーンのまち、◇世界で活躍するということ。

■春日部市立豊野中学校



(11月5日 全校生徒と教職員 530名) 学校との相談により、生徒達が世界に羽ばたくきっかけとなるような講演を行い、歌声の披露や発声法を伝授しました。〔話の流れ〕上記同様。